

令和6年度 第3回福祉センター運営委員会会議録（要旨）

1. 日 時 令和7年2月25日（火）午後4時00分から午後5時30分
2. 場 所 村営やまなみ荘 瑞雲の間
3. 出席者 委 員：丸山 正（会長）、藤澤幸恵、望月典子、太田 譲、字引文威、
松澤壽恵、宮川昌直、藤原久紀
村：村 長 藤澤泰彦、副村長 牛越宏通、所 長 中山茂也、
副所長 甲本太郎、支配人 小坂部元
4. 欠席者 委 員：腰原 隆 村：料理長 牛越 実

5. 協議事項

（1）令和6年度の運営状況について

※令和6年度の運営状況（事業実施状況、収支状況、利用者数等）について資料により説明

問：収支状況について、収入の主な項目の宿泊、宴会、食堂の料理と飲み物が6割程占める。それぞれをよく分析し、収入に対する原価率や原材料に見合った価格帯の設定など分析が必要に思うが。また、実績値は千円単位、費目別収入の構成割合を表示して欲しい。

答：食堂、宴会ともに原価率に見合った価格帯でのご提供を目指しているが、今後しっかり計算し計画を立ててニーズに見合った内容としていきたい。実績値は今後千円単位で作成し、構成割合の表も作成する。

問：厳しい状況での運営だと思われるが、予定される改修を機に何か目玉となるような取り組みなど検討していただきたい。

答：施設改修後は、お客様に注目されるチャンスと考えますので、お客様を呼び込むような目玉となる企画を検討し準備していきたい。

問：フェアなど色々実施されているが原価率、費用対効果など分析、評価して売り上げの上がる方法を検討して欲しい。

答：検討していく。

問：フェアに対してのお客様の反応など評価をしているか

答：アンケートではいい評価をいただいているが、今後は分析しフィードバックを今一度しっかりしていく。

（2）令和7年度の運営について

※令和7年の運営について（集客プランの企画・年末年始・広告方法・サービス改善・

健全運営の推進・安全衛生管理・施設改修整備について、経営計画について、令和7年度当初予算案) について資料により説明

問：令和7年度の当初予算案でバイオマスボイラーの燃料費の削減効果はどうか。

答：来年度、バイオマスボイラーは稼働せず再来年度に計画するため、稼働しながら検証していきたい。

問：経営計画についていかに職員に認識させていくのか。

答：リーダーメンバーがしっかり把握し認識するよう取り組み、その後職員に浸透させていきたい。

問：経営理念として村民と来村者のどちらに重きを置くのか

答：福祉センターであり、基本はあくまで村民だが、赤字額の解消や黒字を目指して村外者の誘客も進めていく。

(3) その他

※「料金の改定」及び「令和7年営業カレンダー」について資料により説明

意：原材料が上がるなか、値上げ幅について現状を考慮するとやむをえない。

問：サニタリーの値上げについて原価と比較して適正か。

答：原価を考慮して試算した。

問：値上げはいつからか

答：4月からとしたい